

まちづくりディスカッション in くみやま (住民討議会) 実施報告書



実施日：令和2年2月11日（火・祝）

午前10時～午後4時

実施場所：久御山町役場 5階コンベンションホール

久御山町総務部総務課

1 まちづくりディスカッション in くみやま（住民討議会）の概要

(1) 日時・場所

- ・令和2年2月11日(火・祝) 午前10時～午後4時
- ・久御山町役場5階コンベンションホール

(2) 討議テーマ

大テーマ くみやま知名度アップ大作戦を考えよう！

小テーマ① くみやまってどれくらいの人知っているの？
有名なまちってどんなまち？

小テーマ② くみやまをみんなに知ってもらうためには？

小テーマ③ くみやま知名度アップ大作戦を企画しよう！

(3) 参加者

①人数＝22名（男性12名、女性10名）

②地域構成：北川顔 1名、島田 1名、西一口 1名、東一口 1名、
森 2名、野村 2名、佐山 4名、林 2名、
下津屋 1名、栄 7名

③年齢構成：10歳代 0名、20歳代 1名、30歳代 3名、
40歳代 3名、50歳代 5名、60歳代 5名、
70歳代 5名 (平成31年4月1日現在)

(4) 選出方法

住民基本台帳より18歳以上・74歳以下の男女1,000名を抽出し、参加依頼書を送付、参加希望者の中から抽選により参加者を選出。

(5) 討議進行方法

- ①年代・性別のバランスを考慮して5名程度の4班に分ける。班ごとにコーディネーター（町若手職員）が入る。
- ②討議会担当職員が情報提供者になり、町の概要や議題などのテーマに関する説明を行う。
- ③班ごとに進行役、記録係、発表者を決める。
- ④午前中に小テーマ①～③の討議を行い討議結果を発表する。

(6) タイムテーブル

- | | |
|-------|-----------------------|
| 10:00 | 開会あいさつ |
| 10:05 | 議題説明と情報提供 |
| 10:35 | 自己紹介と進行役、記録係、発表者などの協議 |
| 10:50 | テーマ①に対する議論 |
| 11:40 | テーマ①の発表（各班5分程度） |
| 12:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00 | テーマ②に対する議論 |
| 13:50 | テーマ②の発表（各班5分程度） |
| 14:10 | 休憩 |
| 14:20 | テーマ③に対する討論 |
| 15:10 | 休憩 |
| 15:20 | 最終発表（各班 約10分） |
| 16:00 | 閉会 |

2 討議結果

1 班 クロスピアで仕事帰りにお酒を飲める店 ～イタリアンのランチも営業～

1 班では、イオン久御山店の近くにある「クロスピアくみやま」に注目をしました。今のままではもったいないと感じ、産地直売やパンの販売だけでなく、何かできないかという話になりました。

夕方の仕事帰りに一杯飲める店を開き、昼間にイタリアンのランチを食べることができるようにすることを提案します。

久御山町は昼間の人口が多いので、クロスピアでバスに乗って帰宅する前にお酒を飲んで食事をしてもらえないのではないかと考えました。

ドリンクのメニューは夢酒くみやま、シャンパン、ビール、ワイン、カクテルなどにはいかがでしょうか。

イタリアンのランチでは、九条ネギのドレッシング、九条ネギと淀大根のピザ、パールコーンのカルパッチョ、トマトの激辛ブルスケッタ、九条ネギのバターソテーなど、久御山町の野菜をふんだんに使ったメニューを提供してはいかがでしょうか。

運営は、行政がクロスピアくみやまの場所を提供して、住民が運営をしていくことで、行政と住民が一体となってクロスピアくみやまを変えることができるのではないのでしょうか。

その他の提案として、「あのおいしいものはクロスピアでしか売ってない」というもの、例えばドレッシングなどを作ってはいかがでしょうか。

また、月に1回野菜のマルシェを行ったり、フードカーがくるイベントをしようでしょうか。そこでは、久御山町のラーメン屋さんや野菜の直売所を掲載したマップを配布します。

クロスピアの屋上をビアガーデンにして、夜はくみやま夢タワー137を見ながらバーベキューができるようにしてはいかがでしょうか。キッズスペースや自転車を置くスペースも確保してはいかがでしょうか。

2班 銭湯の施設や移動式銭湯を作る ～お湯が取り持つコミュニティ～

2班では、久御山町民の久御山町民による久御山町民のためのコミュニティスペースを作ってはどうかという話になりました。そこで、お湯が取り持つコミュニティということで「銭湯」を作ることを提案します。

プランAは銭湯の施設をどこかに設置する、プランBは簡易の移動式銭湯を一定の周期で地域を回って行く、というものです。

お風呂は子どもからお年寄りまでの人が毎日利用するため、人が集まる場所として良いのではないのでしょうか。しかし、お湯につかるだけだとそれで終わりにになってしまうので、さまざまなイベントを企画します。

フリーマーケットや料理教室、ヨガ、子育て教室、体験教室、車での来場も可能なノンアルコールの日替わりバーなどをプロではなく久御山町の住民が主催します。

住民が行うために動機付けが必要と考えます。例えば、イベントを企画した人には久御山町で使えるポイントを贈呈する。イベントに参加した人にもポイントを使えるようにするなどが考えられます。

情報発信はラジオを活用するのはいかがでしょうか。また、久御山町の青年からは「はっちゃけて」発散することができる場が少ないと聞きます。そこで、年1回の盆踊りをして大騒ぎをしてはどうでしょうか。

銭湯に情報を発信する人がいて、情報を持ち帰った人が新しいイベントを企画する。それが「久御山町でこんなことやってます」と拡散して、最終的には他の自治体と組んで何かできれば、知名度アップにつながるのではと思います。

プランBは銭湯を作るお金が高く、実現は難しいと考えるため提案するものです。大きな簡易式のお湯をはることができるものを用意して、移動式銭湯として一定の周期で地域を回ります。交通手段のないお年寄りでも通うことができますし、表に出る機会の少ない人にきてもらうこともできます。

3班 くみやま野菜を使ったビュッフェレストラン ～ユーチューブで魅力発信も～

3班では、久御山町の野菜に注目しました。野菜を活用するためにどうしようかと話をしている中で、「コンベンションホールに初めてきて感動した」と話すメンバーがいました。

なぜかと尋ねると「久御山町にこんなに景色がいい場所があるのかと思った」ということで、これを活用・アピールできないかという切り口で話を進めました。そこで、「くみやま野菜を使ったビュッフェレストラン」をコンベンションホールで開催することを提案します。

イメージは久御山町でとれた京野菜のおぼんざいのビュッフェです。久御山町はジャンクションがあるおかげで、車でどこからでも来ることができます。

久御山町は公共交通機関でのアクセスが弱いと言われますが、町バスを使ってシャトルバスを走らせることもできるのではないのでしょうか。

来場したお客さんには、観光名所をアピールして、車で帰りに観光をしてもらえるようにしてはいかがでしょうか。また、旬菜の里に出張所を出してもらい野菜の販売もできるのではないのでしょうか。

コンベンションホールでの開催ができないのであれば、キッチンカーを使うことはできないのでしょうか。例えば、久御山町が駐車場を提供してキッチンカーを展開し、そのかわり町の指定する材料を使用したメニューで独創的な料理を提供することで久御山町の食べ物を知ってもらえるのではないのでしょうか。

もう一つの提案は、「町民がユーチューブでまちの魅力を発信」という提案です。ポイントは「町民」がユーチューバーとなって発信をすることです。行政が「うちのまちにはこんなに良いところがあります」とアピールをしても、なかなか注目をしてもらえないと考えるからです。行政が住民を後押ししてユーチューブで久御山町の発信をしてもらうことで、知っている人が発信した情報に興味をもってもらえるのではないのでしょうか。

4班 久美浜じゃないよ、くみやま「道の駅」 ～「くみやまのラーメン屋マップ」も作成～

4班では、久御山町の道路網に注目しました。第二京阪や国道1号などの道路網が発達していてこれほど地の利があるまちは少ないと考えます。

そこで、「久美浜じゃないよ、くみやま『道の駅』」を新プロジェクトとして提案します。まちな駅「クロスピアくみやま」がありますが、より大きな規模の道の駅を作ることによって集客ができるのではないかと考えます。

地の利のないところで「道の駅」を作っても人は集まりませんが、地の利を生かすことで、多くの人を集めることができるのではないのでしょうか。

道の駅は、幹線道路の横やクロスピアくみやまの近くに作るのが良いと考えます。人を集めるためには大きな駐車場の確保も必要です。建物を作るためには行政の働きかけが必要と考えます。

久御山町には全国区の淀大根や九条ネギ、おいしいお米があり、あたらしいお酒「夢酒くみやま」もできました。併せて、新しい道の駅で販売をしてはいかがでしょうか。

久御山町は人口減少が課題です。仕事をするために若い人が外に出て行きます。まちを活性化するためには若い人にきてもらうことが必要で、そのためには久御山町を知ってもらうことが大切です。何か一つここがいいなというポイントが必要で「道の駅」でまちを盛り上げることができないかと考えます。

二つ目の提案は、久御山町に10件以上あるラーメン屋さん注目しました。「隠れ激戦区久御山のラーメン屋」マップを作成することを提案します。

広報紙と一緒に町内に配布をして、各店舗にのぼりも掲げます。スタンプラリーも行い、例えば、5杯食べてスタンプを5個集めると、ラーメン一杯をプレゼントして盛り上げてはいかがでしょうか。

久御山町にはたくさんの事業所があるので、ラーメンマップをおいてもらうことで昼食にラーメンを食べにきてもらえるのではないのでしょうか。

3 住民討議会参加者アンケート結果

1 参加された感想をお聞かせください

- | | |
|-------------|----|
| ① 良かった | 19 |
| ② 良くなかった | 1 |
| ③ どちらともいえない | 2 |

2 参加動機についてお聞かせください（複数回答可）

- | | |
|----------------|---|
| ① テーマに関心があったから | 9 |
| ② 無作為抽出で選ばれたから | 8 |
| ③ 町に要望等があったため | 7 |
| ④ その他 | 4 |
- ・テーマに疑問があったから
 - ・久御山に関心を持とうと思ったから
 - ・住民として町のためになればと思ったから
 - ・前回からどれだけ良くなったか

3 この住民討議会は住民の声を行政に伝える手段として適していると思いますか

- | | |
|----------|----|
| ① 適している | 15 |
| ② 適していない | 2 |
| ③ 分からない | 5 |

4 1日討議していただきましたが、時間はどのように感じましたか

- | | |
|----------|----|
| ① ちょうど良い | 12 |
| ② 長い | 10 |
| ③ 短い | 0 |

5 会場の雰囲気はどうでしたか

- | | |
|-------------|----|
| ① 良かった | 22 |
| ② 良くなかった | 0 |
| ③ どちらともいえない | 0 |

6 事前配布の資料の量は十分でしたか

- | | |
|----------|----|
| ① 十分であった | 17 |
| ② 多い | 1 |
| ③ 少ない | 2 |
| ④ その他 | 2 |

- ・施設などの下見が必要だと思います。
- ・過去の資料の抜粋があればと思います。

7 参加者の感想

- 参加者のさまざまな思いや意見を聞いたり、発言することができて良かったです。日頃から町民の声が届きにくいので、こういう機会を今後もたくさんして欲しいです。コーディネーターの進行やアドバイスもとても良かったです。今後も住みやすい久御山町でありますように。
- できることから進めていく重要性を感じました。既存の箱物の利活用も大事だと思います。
- いろいろな意見や考えを聞くことができ、良かったのではないかと思います。
- 寒い時期ではなく、春か秋の方が出やすいのではないのでしょうか。
- 今回の意見がどのように反映されるか不透明であり、「町の声を聞いている」というていを作りたいだけの場にしか感じない。
- 難しいテーマでしたが、形にまとめることができて良かったです。
- まちづくりに住民の意見を反映させるという点ができて良かったです。より住みやすい環境になることを願っています。
- 出身ではないので町民自覚が薄かったのですが、話してみると町民の人が身近に感じられた気がしました。新しく変わるかどうか見てみたいです。
- 町の現状やこれからの施政を討議できて良かったです。
- 異なる地区や年代、職種の人とお話できる機会がとても良かったです。町のことを考え、情報（いろいろな取組）を知れて有意義でした。
- はじめて参加しましたが、来て良かったと思います。皆さんとっても熱心に討論されていて、私も考えさせられました。
- 人口の減少化に対してのさまざまな対策がありますが、久御山町の特徴を生かした施策をお願いします。町民が夢と希望の持てるまちづくりに期待します。
- 普段関われない人とお話や交流ができ、とても充実した1日でした。私自

身が勉強になりました。この貴重な意見を必ず何かしらの形にして実現してください。今日集まった皆さんはこの町が大好きです。よろしくお願いします。

○いろいろなお話の中、自分自身の成長ができました。今後もっと協力していきたいと思います。久御山町の発展を祈ります。

○私の子どもも就活で、くみやまは不便だから「久御山町を出る」と言いました。町内でも若い世代は少なくなりました。こういった形で声を聞いてもらえるのは、久御山町ならではのと思っています。ますます住みよいまちになればと思います。

○このような機会がありとても良いと思います。若い世代が少ない感じがありました。これからは、もっと10代の人意見も聞ける機会があれば、よいまちづくりができると思います。

○町の発展のため、皆さんと一緒に一生懸命案を出し合いました。年代によって考え方や感じ方が違うのがおもしろかったです。

○皆さんのいろいろな意見をお聞きできて楽しみながら意見交換ができて良かったです。

○普段住んでいる久御山町について考えることがないので、こういう機会があつて良かったと思います。いろいろな人の意見も聞いて良かったです。

○いろいろなことを知ることができ、意識が高まったと思います。



